

SUPPLEMENT TO GENES GENET.SYST. (2010)85(2)

April 2010

GSJ コミュニケーションズ

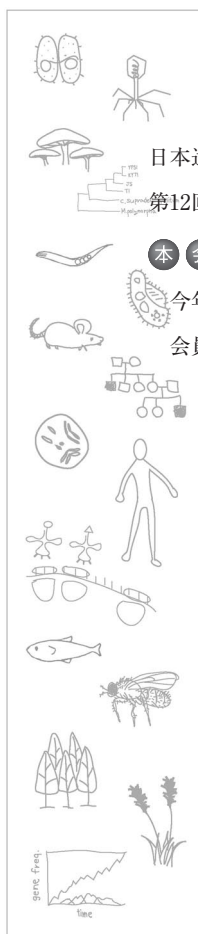
PROCEEDINGS OF THE SOCIETY

GENETICS SOCIETY OF JAPAN (GSJ)

◆創立1920年◆

日本遺伝学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/gsj3/index.html>



目 次 頁

日本遺伝学会第82回大会ニュース（その4） 3

第12回遺伝学談話会報告 8

本 会 記 事

今年度より選挙はすべて電子化されます！ 9

会員異動 10

日本遺伝学会第82回大会ニュース

2010年の第82回大会は、北海道大学高等教育機能開発総合センター（旧教養部）を会場に、下記のような企画で準備を進めています。全国から多くの方々の参加をお待ちしております。

大会ホームページ (<http://noah.ees.hokudai.ac.jp/gsj2010/>) では、今後より詳細な最新の情報をご覧いただけるようにする予定です。ランチョンセミナー、機器・試薬等展示、広告掲載についての詳細は大会ホームページに掲載予定です。

第82回大会では学生の参加を歓迎するため、演者として事前登録した学生会員の参加費は無料とし、旅費の一部援助も行います。また、優れた発表はベストペーパー賞として表彰いたします。

1. 会 場： 北海道大学高等教育機能開発総合センター S 棟および大講堂
札幌市北区北17条西 8 丁目
2. 会 期： 2010年9月20日(月・祝)・21日(火)・22日(水)
なお、公開市民講座を9月23日(木・祝) 13:00-17:00に予定しています(後述)。
3. 企 画：
 - (1) 一般講演 (9月20日(月), 21日(火), 22日(水) 各日 9:00-12:00)
講演時間は1題につき15分(発表12分, 質疑応答3分)を予定しています。PC 用プロジェクター機材のみを用意しますので、各自発表用 PC をご持参下さい。
 - (2) シンポジウムおよびワークショップ
9月20日(月) 13:00-17:00, 9月22日(水) 13:30-15:30
シンポジウムおよびワークショップは以下の13テーマを予定しています。タイトルと世話人は以下の通りです(一部、仮題を含みます)。各企画の詳細な日時、内容と発表者公募の有無は、大会ホームページおよび大会ニュースその5に掲載の予定です。
 - (1) ショウジョウバエ進化研究のこれから ～ポスト12ゲノムの新展開～
世話人：田村浩一郎(首都大学東京), 和多田正義(愛媛大学)
 - (2) 脳における遺伝子-環境相互作用の分子メカニズム
世話人：小出 剛(国立遺伝学研究所 マウス開発研究室), 久保田健夫(山梨大学大学院医学工学総合研究部 環境遺伝医学講座)
 - (3) ゲノム安定性の維持に関わる細胞機構(仮タイトル)
世話人：秋山 昌広(奈良先端科学技術大学院大学), 山本 和生(東北大学生命科学研究科)
 - (4) 微生物ゲノムデザインへの戦略
世話人：片岡 正和(信州大学工学部), 板谷 光泰(慶應大学先端生命研)
 - (5) ゲノム間の軋轢と調和が生物多様性を生みだす分子機構
世話人：木下 哲(奈良先端大・バイオ), 渡辺 正夫(東北大院・生命科学)
 - (6) Y染色体の進化
世話人：黒岩 麻里(北海道大学), 黒木 陽子(理化学研究所)
 - (7) マウス・ラットにおける表現型解析の標準化と情報統合
世話人：榎屋 啓志(理研・BRC), 高田 豊行(遺伝研・哺乳)
 - (8) マウス・ラットをモデルとした哺乳類遺伝学
世話人：佐渡 敬(九州大学), 田村 勝(国立遺伝学研究所)
 - (9) 感覚器官の起源と多様化
世話人：小倉 淳(お茶の水女子大学), 池尾 一穂(国立遺伝学研究所)

- (10) 活性酸素を介したシグナル伝達と遺伝子の安定性
世話人：蓮沼 仰嗣（横浜市立大学木原生物学研究所，高収穫作物研究所）
- (11) 染色体工学技術開発とその応用
世話人：押村 光雄（鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻），多田 政子（鳥取大学染色体工学研究センター染色体医療学研究部門）
- (12) 多様な生命現象におけるエピゲノム制御（シンポジウム）
世話人：佐々木裕之（九州大学生体防御医学研究所）
- (13) 男女共同参画ランチョンワークショップ：
優れた科学の芽を皆でサポートするために
世話人：松浦 悦子（お茶の水女子大学）
- (3) 公開市民講座 「遺伝学は語る—未来へのメッセージ」
※入場無料 9月23日(木) 13:00-17:00
＜公開市民講座の概要＞

公開市民講座第一部は「遺伝学は語る—未来へのメッセージ」と題して，第一線で遺伝学に関わっておられる研究者の方々に，それぞれの専門分野における未来像や将来の社会とのかかわりなどについて講演していただきます．第二部では，札幌近郊の高校生による生物学研究のポスター発表を行い，一般参加者，高校教諭，大学教員，大学院生も交えた研究交流の場を設けます．なお，高校生のポスター発表に対し，遺伝学会員等の投票結果に基づいて表彰を行います．

第一部 遺伝学は語る—未来へのメッセージ

1. 武田 和義（岡山大学資源生物科学研究所 特任教授）
「世界を養う遺伝資源」
2. 黒岩 麻里（北海道大学大学院理学研究院 生命理学部門 准教授）
「天然記念物トゲネズミの保全活動と遺伝学」
3. 新川 昭夫（北海道医療大学 個体差健康科学研究所 研究所長）
「ヒト個体差の遺伝学：耳あか遺伝子が語る弥生人と縄文人」
4. 喜田 宏（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター長）
「鳥・ブタそしてパンデミックインフルエンザ」

第二部 高校生による生物学研究発表（ポスター発表）

コメンテーター（順不同）

- 池内 達郎（日本遺伝学会「遺伝学の教育と普及に関する特別委員会」委員長）
春日 秀夫（清田高校教諭）
金澤 昭良（北海道立教育研究所附属理科教育センター）
栃内 新（北海道大学理学研究院）

4. 講演要旨受付： 2010年6月16日(水)～7月7日(水)
5. 総会・受賞講演： 北海道大学 大講堂（予定） 9月21日(火) 14:00-17:30
6. 懇 親 会： 京王プラザホテル 9月21日(火) 19:00-21:00
7. 学生への旅費援助：

学生会員の参加奨励のため，発表する学生会員に旅費の一部を援助（交通費実費程度）いたします．ただし，所属研究室や日本学術振興会などから旅費が支給される方はご遠慮ください．

※大会全期間参加を条件とします（9月20日(月)～23日(木)）．

申請方法：以下の6点をA4一頁に記載し，下記住所まで郵送

1) 氏名, 2) 所属と学年, 3) 所属住所, 4) 旅費援助希望理由, 5) メールアドレス, 6) 指導教員のサインと押印.

注) 申請書は1人につき1枚提出ください. 研究室単位の申請は, 先頭記載者のみの申請となります.

締め切り: 7月7日(水)着

送付先: 〒411-8540 三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内 日本遺伝学会
日本遺伝学会第82回大会 旅費援助申請
TEL: 055-981-6736 FAX: 055-981-6736

8. 託児施設:

北大キャンパス内にある「北大病院保育園ポプラ」(<http://www.huhp.hokudai.ac.jp/populus/index.html>)を一時託児施設として利用することができます. 施設利用ご希望の方は9月1日までに大会事務局(iden82@aeplan.co.jp)にご連絡ください. 9月1日以降(大会当日まで)に施設利用の必要が生じた場合は, 託児施設担当 安住(kaoru@pharm.hokudai.ac.jp)までご連絡ください. なお, 託児施設を利用された方には, 日本遺伝学会より託児費用の半額が支援されます.

9. Best Paper 賞:

昨年の大会と同様の要領で, 大会発表の一般演題の中から優れた研究発表10件程度を選んで表彰いたします. 一般講演として登録後, ワークショップの口演発表として選ばれた演題も対象になります.

10. 一般講演申し込み:

一般講演申し込みは後述の大会関連ホームページの参加登録画面から申し込んで頂くようになっております(6月16日(水)より稼動). 一般講演申し込みは必ず Web 上での参加登録をすませた後に行ってください. 参加登録番号が必要となります.

申し込みの注意点

- ・日本語要旨と英語要旨の両方の登録をお願いします.
- ・講演の申し込みは一般講演およびワークショップを含め, 1人1題を原則とします(シンポジウムおよびサイエンティフィックな話題以外のワークショップ(男女共同参画など)における演題発表, さらにワークショップの招待者は, この限りではありません).
- ・一般講演で発表できるのは日本遺伝学会会員のみです. 2010年度までの遺伝学会費を7月13日(火)までにお納めください.
- ・一般講演で発表される方で日本遺伝学会に未入会の方は, 先に入会手続きを日本遺伝学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/gsj3/nyukai.html>)からお願いします. なお, 会員でなくても非会員扱いで大会に参加はできます.
- ・オンライン演題登録後, 確認修正画面で登録番号とパスワードにより登録をご確認下さい.
- ・登録番号やパスワードを忘れた場合のお問い合わせには応じられません. パスワードを忘れた演題で修正が必要になった場合には, 登録をやり直し, 大会事務局(iden82@aeplan.co.jp)にお知らせ下さい. 講演要旨締め切りは7月7日(水)です(6月16日-7月7日).

11. 参加登録:

参加登録は大会ホームページ(<http://noah.ees.hokudai.ac.jp/gsj2010/>), あるいは日本遺伝学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/gsj3/nyukai.html>)の大会参加登録画面から事前参加申し込みを行ってください. 事前参加でお申し込んだ後, お振込いただく際は, GGS Vol. 85 No. 2 の郵便払込取扱票の通信欄に下記の記載事項を記し, 下記ゆうちょ振替口座までお振込みください. (振込締め切り8月6日(金))

◆通信欄記載項目

- 1) 事前参加申込の際は下記の参加費の区分(一般・学生・一般非会員・学生非会員)と懇親会費参加可否か記載をお願いいたします.
- 2) 事前参加登録完了後, お知らせさせていただきました, 「参加登録番号」の記載をお願いいたします.

* 払い込んだ方が特定できるように一人1枚ずつ別々の払込取扱票をお使いください。

* 1枚の払込取扱票を用いて研究室単位等でまとめて支払わないようお願いいたします。

所定の振込用紙がない場合、郵便局に備え付けの振替用紙（青色）で、下記郵便振替口座までお振込みください。

<送金先>

ゆうちょ振替

口座番号 02790-8-79711

加入者名 日本遺伝学会 第82回大会

他行等からのお振込の場合

店 名：279

預金種目：当座

口座番号：0079711

【参加費】 会員の方：2010年度までの遺伝学会費を 7月13日(火)までにお納め下さい。

現在非会員で会員料金で参加される方：先に入会手続きを行ってください

(<http://www.soc.nii.ac.jp/gsj3/nyukai.html>).

	事前登録（6月16日(水)－8月6日(金)迄）	当日登録
一 般 会 員	7,000円	8,000円
学 生 会 員	3,000円（但し演者は無料）	4,000円
一般非会員	9,000円	10,000円
学生非会員	3,000円	4,000円

・【懇親会費】

	事前登録（6月16日(水)－8月6日(金)迄）	当日登録
一 般 会 員	6,000円	7,000円
学 生 会 員	3,000円	4,000円
一般非会員	6,000円	7,000円
学生非会員	3,000円	4,000円

【注意事項】

- ・大会及び懇親会への参加者は、参加登録を行ってください。参加章の無い方は、原則として会場への入場はできません。
- ・事前登録としての参加登録の完了には、Web 参加登録及び参加費振込の両方が必要です。注）海外からの参加者は当日受付でのお支払いとなりますので、この限りではありません。
- ・8月6日(金)以降の参加登録は、当日受付にてお願いします。
- ・8月6日(金)迄に Web 参加登録と参加費振込を済まされた方には、8月下旬に参加章と講演要旨集を郵送します。それ以外の参加者には大会当日にお渡しします。
- ・*海外からご参加の場合の注意点

お支払いは当日受付で行ってください。事前登録頂いた場合は、まず総合受付までお越し下さい。事前登録されていない方は、当日受付までお越し下さい。参加章と講演要旨集は参加費と引き換えにお渡しします。

●当日登録

事前参加登録をされなかった方は、当日会場に参加登録をお願いします。（参加章と講演要旨集は参加費と引き換え）

当日登録の学生非会員は、学生証を提示をお願いします（提示のない場合：一般非会員扱いとなります）。ご不明な点がございましたら、下記の事務局までご連絡ください。

12. 日本遺伝学会第82回大会準備委員会：

大会委員長	高木 信夫	(北海道大学)
事務局庶務・会計・懇親会	鈴木 仁	(北海道大学地球環境科学研究院)
	金澤 章	(北海道大学農学研究院)
プログラム委員長	黒岩 麻里	(北海道大学理学研究院)
プログラム委員	阿部 周一	(北海道大学水産学研究院)
	平田 晴之	(酪農学園大学獣医学部)
	西田千鶴子	(北海道大学理学研究院)
	吉田 郁也	(北海道大学理学研究院)
広報・設備機材	遠藤 俊徳	(北海道大学情報科学研究科)
ホームページ	吉田 磨仁	(北海道大学地球環境科学研究院)
会場・案内	加藤 敦之	(北海道大学理学研究院)
	久保 友彦	(北海道大学農学研究院)
	伊藤 秀臣	(北海道大学理学研究院)
託児施設	安住 薫	(北海道大学薬学研究院)
公開市民講座	貴島 祐治	(北海道大学農学研究院)
遺伝 Q&A パンフレット	峯田 克彦	(北海道大学情報科学研究科)

13. 連絡先： 日本遺伝学会第82回大会事務局 (株 エー・イー企画内)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-8 昭文館ビル3F

Tel : 03-3230-2744, FAX : 03-3230-2479

Mail : iden82@aeplan.co.jp

第12回 遺伝学談話会報告



本会東北談話会が中心になり、2010年2月20日(土)12:30より仙台市民会館・第4会議室におきまして遺伝学談話会を開催しました。「遺伝的安定性維持機構」を大きなタイトルとし、八戸工業高等専門学校の山本歩先生から「化学物質と放射線の複合影響評価に関する研究」と題して当該領域の基礎からご自身のフロンタラインまで大変丁寧な解説がなされました。特に、放射線と化学物質の遺伝毒性に対する複合効果について個体、細胞、分子レベルから検討した結果、化学物質を前処理したあとで放射線を照射した場合には放射線単独照射の場合より遺伝毒性の影響が抑制される現象(適応応答)が確認され、そこにはp53の活性化を介した細胞周期チェックポイントの活性化が関与している事が示唆された、との興味深い話題でした。

その後東北大学大学院生命科学研究科の山本和生先生による「突然変異と遺伝病」と題した講演があり、ゲノム配列の違いが生じる仕組みについて、またそれが普通に起きる現象であること、さらには各人がこれまでいわゆる遺伝病と呼ばれてきた変異をどの程度保持するか等々、丁寧な解説がなされました。「たまたまの結果」としての疾病が特殊な現象ではないことを専門外の方々にどのように説明すればよいか、これは本会が負うべき社会的(解説)責任の一つであると思いますが、わかりやすく解説され大変有意義な講演でした。またこのような解説を「対立遺伝子」の語を一切使わずに大変コンサイスに説明されたことは、会場の遺伝学会関係者に深い感銘を与えたと思います。

山本歩会員が山本和生会員の研究室出身であることは偶然と必然があったことと推察しますが、世話役の同姓もたまたまでしょうか。

以上報告いたします。

(世話役 山本博章)



◆今年度より選挙はすべて電子化されます！◆

昨年の総会でお知らせしましたように、投票率のアップと経費の削減を目指して、今年度より選挙はすべてインターネットを利用したウェブ上での投票となります。詳しい投票方法は追って連絡致しますが、流れとしては6月上旬に会員全員にお送りするパスワードとIDで「個人のページ」にログインして頂くことになります。個人のページでは

1. 会費の支払い状況の確認
2. 大会の参加登録及び演題登録
3. 選挙の投票

の3つを行うことができます。そこでの指示に従って投票となりますが、会員名簿がウェブ上で閲覧でき、しかも検索機能（氏名、所属、地区）が付いておりますので、簡単に素早く投票したい会員名を探し出し、投票することができます。

今後の選挙のスケジュール（予定）は次のようになっています。

- 6月上旬 評議員による次期会長候補者選挙（3名）
- 8月中旬 全会員による次期会長及び評議員選挙

是非新システムを利用して投票をお願いいたします。

（庶務幹事 小林武彦）

【事務局よりお願い】

上記ご案内の通り、2011・2012年度の役員選挙が実施されます。ご所属が変更になりました方、E-MAILアドレスが変更になりました方は、事務局まで至急ご連絡をお願いいたします。また、E-MAILアドレスをご登録されていない方は至急ご登録をお願いいたします。お持ちでない方は、ご取得いただくか、事務局までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

<連絡先>

〒411-8540 静岡県三島市谷田1,111
国立遺伝学研究所内
日本遺伝学会事務局
TEL/FAX: 055-981-6736
Email:japgenet@lab.nig.ac.jp

◆会 員 異 動◆

新入会・再入会

尾 崎 清 明	270-1145	千葉県我孫子市高野山115 (財) 山階鳥類研究所
永 瀬 浩 喜	173-8610	東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学大学院総合科学研究科生命科学専攻

連 絡 先 変 更

渡 邊 豊	904-2234	沖縄県うるま市洲崎12-22 沖縄科学技術研究基盤整備機構 生態・進化学ユニット
布 柴 達 男	181-858	東京都三鷹市大沢 3-10-2 国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科
小 林 史 典	020-0198	岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センターめん用小麦研究東北サブチーム
三 瀬 名 丹	329-0431	栃木県下野市薬師寺3311-1 自治医科大学医学部薬理学講座環境毒性学部門
一 柳 健 司	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1 九州大学 生体防御医学研究所 ゲノム機能制御学部門 エビゲノム学分野
河 邊 昭	603-8555	京都市北区上賀茂本山 京都産業大学総合生命科学部生命資源環境学科
間 野 修 平	190-8562	東京都立川市緑町10-3 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 数理・推論研究系
長 田 直 樹	411-8540	静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所 集団遺伝研究系 進化遺伝研究部門
久 郷 和 人	153-8902	東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 太田研究室
金 森 保 志	616-8354	京都府京都市右京区嵯峨一本木町1 京都工芸繊維大学ショウジョウバエ遺伝資源センター
保 坂 和 良	082-0081	北海道河西郡芽室町新生南9線4番地 (独) 農研機構 北海道農業研究センター
木 下 哲	630-0192	奈良先端科学技術大学院大学 グローバル COE 植物試食遺伝学研究グループ
佐 渡 敬	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1 九州大学生体防御医学研究所エビゲノム学分野

退 会

原田良信, 藤巻 宏, 森藤 暁, 牛山智彦, 平井篤志, 松田 勝, 三代隆洋, 中田 昇, 五十嵐久美子, 増子恵一, 武田 真, 加藤由美子, 福田一郎, 日詰雅博, 郡家徳郎, 笠原基知治, 堀 寛, 出田 収, 駒井正彦, 野上悠佳, 三十尾修司, 富樫 伸, 能美健彦, Hussam Hassan Arafat Hassan, 尾本恵市, 飯田 充一, 佐々木正夫, 井上麻紀, 内野明徳, 井上貴之, 金子隆史, 石田龍太郎, 遠藤 浩, 石島早苗, 天野 卓, 江本宗玄, 柏木昭彦, 前田 馨, (株)三菱化学生命科学研究所図書室, 獨協医科大学図書館, 久留米大学医学図書館, 佐賀大学附属図書館, 公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター, 鳥取大学附属図書館医学部分館 医学資料係

寄贈図書・交換図書

科学	Vol. 80	No. 2, 3, 4, 5	(2010)
統計数理	Vol. 57	No. 2	(2009)
人と自然	Vol. 20		(2009)
ChineseJournal of APPLIED & ENVIRONMENTAL BIOLOGY	Vol. 15	No. 5, 6	(2009)
	Vol. 16	No. 1	(2010)
JOURNAL OF CHINA-JAPAN FRENDSHIP HOSPITAL	Vol. 23	No. 5, 6	(2009)
	Vol. 24	No. 1	(2010)
THE YEAR BOOK			(2010)
CHINESE QINGHAI JOURNAL OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES	Vol. 39	No. 5, 6	(2009)
Journal of Applied Genetics	Vol. 50	No. 4	(2009)
	Vol. 51	No. 1	(2010)
AVANCE Y PERSPECTIVA	Vol. 2	No. 3	(2009)
ACTA SOCIETATIS BOTANICORUM POLONIAE	Vol. 78	No. 4	(2009)

(鈴木真有美)

日本遺伝学会会則

- 第1条 本会は日本遺伝学会と称する。
- 第2条 本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及を計ることを目的とする。
- 第3条 本会は事務所を静岡県三島市谷田、国立遺伝学研究所内におく。
- 第4条 本会に入会しようとするものは住所、氏名および職業を明記して本会事務所に申し込むこと。
- 第5条 本会会員は普通会員、機関会員、賛助会員および名誉会員とする。毎年普通会員は会費10,000円（ただし在学証明書またはそれに代わるものを提出したとき、あるいは定年退職して常勤職でなくなったことを申し出たときは6,000円）を、機関会員は15,000円を、賛助会員は1口（20,000円）以上を前納すること。会員で会費滞納1年におよぶものは資格を失うものとする。
- 第6条 本会は次の者を総会の決議により名誉会員にすることができる。
本会に功労のあった者、外国の卓越した遺伝学者。
- 第7条 本会は隔月1回遺伝学雑誌を発行して会員に配布する。
- 第8条 本会は毎年1回大会を開く。大会は総会と講演会とに分け、総会では会務の報告、規則の改正、役員選挙および他の議事を行い講演会では普通会員および名誉会員の研究発表をする。
大会に関する世話は大会委員若干名によって行い、大会委員長は会長が委嘱する。大会は臨時に開くことがある。
- 第9条 本会は各地に談話会をおくことができる。
- 第10条 本会は会長1名、幹事若干名、会計監査2名の役員、および評議員若干名をおく。
1) 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
2) 会長は、評議員が全普通会員の中から選出した複数の候補者から普通会員による直接選挙によって選出される。
3) 評議員は、普通会員による直接選挙で選出される。
4) 幹事は、会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される。
5) 会計監査は、会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される。
6) 会長は評議員会を招集し、その議長を務める。幹事は評議員会に出席するものとする。
7) 評議員会は会員を代表して、事業計画、経費の収支、予算・決算、学会誌の発行、大会の開催、その他重要事項について審議し、出席評議員の過半数をもって議決する。
8) 会長ならびに幹事により幹事会を構成し、会長がこれを代表する。
9) 幹事会は、学会の関連事項を論議し評議員会に諮ると共に、会務を執行する。
10) 会計監査は、学会の会計を監査する。
- 第11条 役員および評議員の任期は2カ年とする。会長および評議員は連続三選はできない。
- 第12条 本会の事務年度は暦年による。
- 付則 平成7年10月13日に第5条を改正し、平成8年1月1日から施行する。
- 付則 平成21年9月17日に第5条を改正し、平成22年1月1日から施行する。

Genes & Genetic Systems 第85巻2号（付録） 2010年6月4日発行 非売品 発行者 五條堀 孝 印刷所 レタープレス株式会社 Letterpress Co., Ltd. Japan 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809-5番地 電話 082 (844) 7500 FAX 082 (844) 7800 発行所 日本遺伝学会 Genetics Society of Japan 静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内	学会事務取扱 〒411-8540 静岡県三島市谷田・国立遺伝学研究所内 日本遺伝学会 http://www.soc.nii.ac.jp/gsj3/index.html 電話・FAX 055-981-6736 振替口座・00110-7-183404 加入者名・日本遺伝学会 国内庶務、渉外庶務、会計、企画・集会、将来計画、編集などに関する事務上のお問い合わせは、各担当幹事あてご連絡下さい。 乱丁、落丁はお取替えます。
--	---